強みは一貫生産と一体感

生産管理部 課長　山村 芽久美さん（右）
生産管理部 主任　竹田　朋恵さん

中原化成品工業は強化フェノール樹脂などの生産から成型・加工・組み立てまで一貫して行っている。主力工場の福光工場（富山県）では社員の6割以上を女性が占める。今回は生産管理部と製造部で活躍する女性幹部社員に仕事内容や今後の抱負について話を聞いた。

「生産管理のデジタル化に取り組んでいます。開発会社や社員の皆さんの協力のおかげで、バーコードを使った自社仕様の在庫管理システムが6月から始動しました。次は工程管理システムの構築を目指します」（山村課長）

「大学の工学部で学んだことを生かそうと思い入社しました。主力製品であるツールポットの生産計画を製造部門と相談しながら立案しています。良い製品をお客様に届けるため、各部門が知恵を出し合い製造しています」（竹田主任）

一方製造部門は、工場全体で協力して納期短縮など顧客の要望に応えている。

「航空機や車両部品などの成型後の仕上げを担当しています。成型から組み立てまで一貫生産できる所が強みです。今後は教育に力を入れ、個人が生かされる職場を作っていきたいです。」（塩谷係長）

「ツールポットの仕上げ検査を担当しています。過去に成型も担当していましたが、気温や湿度などに影響されやすく、微調整しないと良い製品になりません。今は自分たちの持つ知識を次の世代に繋いでいくために、仕事の標準化やマニュアル化に取り組んでいます」（中田係長）

製造部 係長　塩谷　葵さん（右）
製造部 係長　中田 真耶さん

NCI 中原化成品工業株式会社
〒547-0032　大阪市平野区流町4丁目11番9号
TEL.06-6709-4080　FAX.06-6799-1222
https://nakahara-kk.co.jp/

一人前の検査技師を目指して日々努力

検査技師　竹谷 春香さん

今年の3月に東亜精機工業に入社しました。サービス業の会社の事務職から転職し、モノづくりの会社で仕事をするのは初めてです。

前職で製造業のお客様と接する機会があり、自社の製品やモノづくりの魅力について熱く語られる社長が多く、興味はありましたが、知識のない私にとっては縁遠いものだとあきらめていました。しかし、年齢を考えると最後の挑戦。どうせやるならやりたいこと〝モノづくりの現場〟で働きたいと思い転職を決意しました。

現在は製造部で検査技師の見習いをしています。入社するまでは図面も見たことがなく、ノギスやマイクロメーターなどの名前も知りませんでした。先輩方から丁寧にわかりやすく教えていただいたおかげで、できる仕事も増えました。特に、自分が測定し、組みあがった部品が製品になり出荷されていく所を見ると達成感を覚えます。検査部門はお客様に製品の保証をする最後の砦で重要な仕事です。努力を惜しまない事には自信があるので、わからないことをそのままにせず、先輩に聞くか、自分で努力して解決し、早く検査技師として独り立ちしたいと思っています。

この会社には5回目の転職で入社しました。知識のない私を採用し、チャンスを与えてくれた会社に感謝しています。今後はいろいろな業界で働いた経験を生かし、広い視野で少しでも会社に貢献できる社員になりたいと思っています。

5軸加工用治具（任意複合加工）

TGW 東亜精機工業株式会社
〒537-0025　大阪市東成区中道1丁目5番8号
TEL.06-6972-2431　FAX.06-6976-6960
http://www.toaseiki.co.jp/

モノジョ

可能性 無限大 ∞ わが社自慢のモノづくり女子

女性の活躍の場が広がっている。
中でも製造業での女性進出はめざましい。それも事務系職場にとどまらず
製造現場でも大きな役割を担う〝モノづくり女子〟が増えている。

それぞれの企業で、職場で、知恵と工夫、そして行動力を
いかんなく発揮し、輝きを放っている。
そうした〝モノジョ〟の姿を紹介する。

製造現場とのコミュニケーションを大切に

総務部　杉田 真依子さん

大阪府柏原市の出身で地元企業で働きたいと思い入社しました。最初はあまり意識しなかったのですが、働くうちにモノづくりの楽しさに惹かれました。会社は水道メーターを製造しており、全国の自治体などに広く納入しています。自社一貫生産にこだわり、モノづくりをしています。

入社6年目で総務部に所属し、主に生産管理を担当しています。仕事内容は受注と生産のバランスを調整しながら、お客さまに迅速に製品をお届けし、さらに製造現場の負担が少しでも減らせるように生産計画を立てることです。

5カ所ある工場はインターネット経由でスマートファクトリー化されており、各工場の進捗状況がリアルタイムで把握できます。以前は各工場を、汗を流しながら自転車で回り、手書きの日報を集計するなどして日々管理をしていましたが、今では本社に居たまま、リアルタイムのデータを元に綿密な計画を立てることが可能になりました。

生産管理は数字を追求するのが大前提ですが、実際に作業を行う現場の方々が抱える苦労や課題を解決することが一番大切であり、生産性アップへの近道であると考えています。普段から現場とのコミュニケーションを大事にし、私の数字への熱い思いを伝えながら、現場とともに生産計画を達成することが私の楽しみになっています。

水道メーターが「水道の使用量を計測する」という枠を飛び越え、人々が笑顔で安心して暮らせる製品になるよう新たなイノベーションを起こすのが私の夢です。

柏原計器工業株式会社
〒582-0001　大阪府柏原市本郷5丁目3番28号
TEL.072-973-0601　FAX.072-973-0610
https://kashikei.co.jp/

〝工程の先を読むこと〟目標に

サーモシステム事業部 外注購買部　山中 宏美さん

現在入社4年目で、資材部門で部品の発注、納期や物流の管理などを担当しています。調達先の会社と当社の営業部や設計部、製造部との架け橋になる仕事です。発注が少しでも遅れると次の工程に影響を与えかねないので気をつけています。

その一方で、上司からは〝工程の先を読めるように〟と教わりました。当社の製品は設計・組み立ての数カ月かかりますが、全ての部材が早い時期に届いてしまうと工場が部品在庫であふれてしまいます。そのため、組み立て工程のちょうどよいタイミングで部品が納入されるよう調整する必要があります。私はまだボルトやバルブといった型番で発注できるものを担当していますが、全体の製造工程を理解して発注することを目標にしています。

就活で当社を選んだのは金融や保険など「カタチ」の無いサービスよりも、「モノ」を取り扱う製造業であることと、財務内容が安定した会社であることが決め手でした。大学では邦楽部に所属し箏を弾いていました。定期演奏会の運営では、コンサートの企画やプログラムの進行から、会場の許可取りや楽器の搬入、照明の指示に至るまで、責任者として一切を仕切っていました。その経験は今の仕事でも委託生産先との間で部品が必要になる納期をタイムリーに確認・伝達する場面で生かされていると感じています。

休日は会社の先輩方と山登りに行くことも。昨年は3回行く機会がありました。普段はあまり話すことがない他部署の方々ともつながりができ、仕事での意思疎通もしやすくなりましたね。

超高温雰囲気炉

加熱技術で「ものづくりの環」をつなぎ新素材・新エネルギーの発展に貢献する
富士電波工業株式会社
〒532-0033　大阪市淀川区新高2丁目4番36号
TEL.06-6394-1151　FAX.06-6394-1156
http://www.fujidempa.co.jp/